

金 沢 の 文 化 に つ い て 語 り 合 お う

英語 第 2 学年

金沢市立城南中学校

1 事例の概要

本校は、平成 1 8・1 9 年度に石川県読解力向上推進事業研究校の指定を受けた。また平成 2 0・2 1 年度に児童生徒の「活用力」向上モデル事業研究校の指定を受け、「ことば力向上～学び合いのできる生徒の育成を目指して～」をテーマとして研究実践を行ってきた。

よりよい人間関係をつくれない生徒の中には、語彙力や表現力が不足している生徒も多い現状がある。英語科においても、思考することや論述することに抵抗を感じている生徒もいる。そのため基礎・基本の確実な定着を図るとともに、授業の中で様々なテーマについて資料を読み（聞き）、思考し記述する場を確保し、質の高いコミュニケーション力や表現力を育成することをめざした。

A－1 学校研究

(英語科の「研究実践」を含む。)

2 実践内容

(1) 単元の目標

- ・金沢の文化（金箔・百万石祭り・加賀鳶・和菓子）について、わかったことを英語でわかりやすく説明したり、自分の意見や理由を英語で表現したりできる。【表現の能力】
- ・金沢の文化について英語で話を聞いて英語で理解したり、友達の発表を聞いて理解したりできる。【理解の能力】

(2) 指導上の工夫点（視点）

① 指導法の工夫

- ・オープンエンドの課題設定

副読本の理解の延長上に各自の思いを語り合う活動を設定する。1 年生の「A L T に一番紹介したい金沢の観光名所」、3 年生の「もし金沢市長だったら、金沢をどのような都市にしたいか」という課題との系統性を考慮し、「1 0 0 年後まで残したい金沢の文化」について選んだ理由を含めて説明するという課題を設定する。

- ・発問の工夫

学習内容の理解を助け、Q & A を活用し、無理なく自己表現活動に橋渡しできるようにする。また、何のためにそのテキストを読むのか、何を読み取らせたいのかを明確にし、主体的に考え、判断しながら理解できるように、内容や意見を批判的に捉えさせる。

- ・コミュニケーション力を高めるグループ活動

文化についての理解や伝える内容の構成はグループで協力して考えることによって、全員発表に参加できる基盤を作る。また、自分の意見や話し合いの表現について既習事項を確認し活用できるようにする。

② 評価法の工夫

- ・定期テスト、実力テストにおける「活用力」を問う問題の出題
- ・レポート作品での評価
- ・スピーチやプレゼンテーションなど発表の評価

B－1 評価問題例

3 指導の実際

次	学習内容及び学習活動	評価規準	ことば力向上に迫る重点目標
第一次 3時間	・金箔について説明を聞き、理解する。 ・金箔の説明文を考え、自分の意見を加える。 【城南スタンダード】	・説明文を理解できる ・自分の意見を考えることができる	・キーワードを見つける ・自分でリライトする ・意見を表現する
第二次 2時間	・100年後まで残したい金沢文化（金箔、百万石祭り、加賀鳶、和菓子）を選び、説明文とその理由を考える。	・オープンエンドの課題設定	・ナンバリング ・結論先行 ・理由付け
第三次 2時間 (本時)	・金沢文化についてグループで自分の意見を発表する。 ・他の人の意見を聞き、メモを取る 容について、質問をする。	・グループで話し合いができる スピーチやプレゼンテーションなど発表の評価 レポート作品での評価	・意見交換をし、結果報告ができる

生徒の学習活動	時間	・指導上の留意点 ◇教師の発問 ○評価
2. 前時までの復習 ・英語でインタラクションしながら前時までに学習した伝統文化を確認する。 発問の工夫	5	◇What did you study last class? Please raise some kinds of Kanazawa's traditional culture? ・伝統文化についての写真を提示しながら英語で進める。 ◇What do you think is the most important Kanazawa's traditional culture? ・何人かを指名して金沢の伝統文化の中で自分が一番大切だと思う金沢の伝統文化について答えさせる。
課題 金沢の伝統文化の中で一番伝えたい文化を発表しよう		
3. グループ発表のための確認 ・英語でインタラクションしながら、ディスカッションの中の表現を確認する。 コミュニケーション力を高めるグループ活動	5	◇You studied about some useful expressions for group discussion. What are the useful expressions? ・英語でインタラクションしながら、司会者の表現、ディスカッションの中の質問の仕方や応え方を確認する。 ペアを組んで、スラスラと言えない場合は言えるようにさせる。

C-1 Kanazawa Culture 指導案

C-2 ワークシート

4 成果と課題

(1) 成果

- ・司会をするときの表現や質疑応答に慣れて、グループ活動が円滑に行えるようになった。
- ・授業の中で発表の場を多く経験したことにより、全体的に発表する力がついてきた。
- ・文章を書くことや話すことに対する抵抗感が減り、伝える内容や方法を工夫できた。

(2) 課題

- ・限られた時間内に長い英文を読み、その内容を理解する力が弱いことから、時間設定の中で読解する力を育成する必要がある。
- ・場面に応じて既習を活用する力が不十分であることや、文章構成に気をつけて英作文を書くことを苦手とする生徒に対する手だてを講じる必要がある。
- ・英語の活用力を評価する問題の作成と実施、検証方法の工夫が必要である。